

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第62回)

あつ森って面白いの？ゲーム機ない人も

2020.06.29



この頃よく聞く「あつ森」。これは2001年から販売されている任天堂のゲーム「どうぶつの森」シリーズの最新作、Nintendo Switch用の「あつまれ どうぶつの森」のことだ。2020年3月20日に発売された。

キャッチコピーは「何もないから、何でもできる」。ユーザーは現実と同じ時間が流れる無人島に移り住み、生活を送る。島には動物の姿をした、人間の言葉を話す島民がいて、仲良く触れ合える。まずはテント1つから、豊かな自然を材料に、必要な道具や家具をDIYして、自分ワールドを作っていく。ゲームをプレーしていくうちに、やれることが増えていく。期間限定で行われるイベントも楽しい。

魚釣りをしたり、昆虫や果物を採集したり、作物を作って暮らす。収穫物や余ったものを買い取ってもらい、得たお金で買う。ローンを組んでマイホームを建てる。遊園地、公園、温泉を作って島の施設を充実させるのもよい。

島の飛行場から、他の人の島に遊びに行けたり、友だちが遊びに来たりできる。島には8人まで滞在でき、楽しく交流して思い出をつくる。なお1つの島に気の合う仲間と8人まで一緒に暮らせる。

コロナ禍による外出自粛によるストレスは大きい。バーチャルな世界にいつでも出掛けて自分の世界を好きに作れて、自然や移ろう季節を味わい、友だちとも交流できるこのゲームがはやるのは当然ともいえる。任天堂によれば、3月20日に発売してから3月末までの10日余りで、なんと世界で1177万本を売り上げたという。

世界で楽しまれている証拠に、案内役の「しずえさん」の机にある茶色の飲み物の正体が分からず、「しずえさんが飲んだくれている」とネットで話題になった。実はその飲み物は日本人なら誰でも分かる麦茶。外国人は氷の入ったウイスキーに見えるらしい。

ステイホームで、オンライン対戦や交流できるゲームが好まれる… 続きを読む